

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年12月18日

計画の名称	京都市におけるグリーンインフラを活用した豊かな生活空間の形成											
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)											
交付対象	京都市											
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公園及び道路の植栽帯や雨庭等の整備により、地域コミュニティの形成に資する花と緑豊かな歩いて楽しいまちづくりを推進する。 ・グリーンインフラの整備により、風情ある魅力的な公共空間を形成することを推進する。 ・市街地緑化を推進することで、ヒートアイランド現象の緩和に向けた対策を推進する。 											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	248	A	248	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
	R2当初	R4末	R6末				
1	多様な主体の参画によるグリーンインフラの育成・維持管理の団体数 市民の参画・協働による公園の管理運営に関わる公園愛護協力会や、雨庭等の育成、維持管理に関わる施設管理者の団体数 0団体 20団体	0団体	10団体	20団体			
2	景観の向上による市民満足度の増加 整備後のアンケートにより、グリーンインフラの整備による景観の向上によって創出される市民満足度の増加割合 0% 33%	0%	0%	33%			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	<input checked="" type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	-
○水共生プランに基づき実施される要素事業（6-A-1、6-A-2、6-A-3）												

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											R02	R03	R04	R05	R06		
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	京都市	直接	京都市	-	-	公共公益施設緑化事業(雨庭整備)	5箇所	京都市						48		-
		6 - A - 1																	
		公園	一般	京都市	直接	京都市	-	-	グリーンインフラ活用型 都市構築支援事業(歴史的市街地)	公園樹整備 6公園、雨庭整備 4箇所、街路樹整備 1箇所	京都市						134		-
	A12-002	6 - A - 2																	
		公園	一般	京都市	直接	京都市	-	-	グリーンインフラ活用型 都市構築支援事業(南部地区)	公園樹整備 9箇所、雨庭整備 3箇所	京都市						66		-
		6 - A - 3																	
												小計						248	
												合計						248	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	本市において評価を実施
事後評価の実施時期	令和7年度
事業効果の発現状況	
定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	グリーンインフラの整備拡大に合わせて、市民や団体等による参画が進み、また、整備による市民満足度も向上しており、事業効果が発現されている。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
グリーンインフラの整備については、防災・安全交付金の「京都市の安心・安全で快適なまちづくり（防災・安全）（第3期）」に移行しており、引き続き事業を継続していく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	施設管理者の団体数		
	最終目標値 20団体	整備したグリーンインフラに愛着を持ってもらうことができたため、目標値以上の団体に協力いただくことができた。	
2	市民満足度の増加割合		
	最終目標値 33%	京都の造園技術力を活かしたグリーンインフラを整備することで、目標値以上の市民満足度を得ることができた。	